

▼明治3年（約130年前）の米のとれ高（生産量）（郷土史より）

役高書上帳 会津郡熨斗戸組二十三ヶ村	
明治三年六月 触継星与惣佐衛門	一、高二十四石八斗八升一合 田ノ瀬村
一、高百二十七石六斗六七合 熨斗戸村	五軒二十六人 肝煎甚五右衛門
一、高百二十七石六斗六七合 肝煎久米右衛門	一、高三十七石七斗一升七合 前沢村
一、高六十二石四斗五升九合 戸中村	十軒四十六人 肝煎甚五右衛門
一、高百六十一石四斗七升八合 森戸村	一、高三十二石六斗三升七合 福渡村
一、高百二十三石七斗二升二合 伊与戸村	十一軒五十人 肝煎甚五右衛門
一、高六十一石五斗九升六合 木賊村	一、高百八十六石八斗三升二合 塩ノ原村
一、高六十一石五斗九升六合 肝煎覚之丞	二十八軒百二十二人 肝煎金作
一、高十八石五斗七升三合 川衣村	一、高九十一石八升二合 岩下村
一、高三十八石三斗九升一合 吉高村	十軒三十二人 肝煎栄助
一、高三十四石五斗一升四合五勺 押戸村	一、高五十五石一斗八升七合 精舎村
一、高七十三石九斗一升 貝原村	十軒三十四人 肝煎雲吉
一、高三十七石四斗三升一合五勺 角生村	一、高六十六石七斗一升四合 井桁村
一、高二十九石七升二合 水引村	九軒二十四人 肝煎雲吉
一、高四十五石九斗四升三合 湯ノ岐村	一、高六十四石六升二合 八総村
一、高六十六石六斗三升 穴原村	十九軒百三人 肝煎雲吉
一、高九十四石二斗 肝煎喜左衛門	◎合計千五百五十三斗七升八合
一、高十四石二斗二升四合 助木生村	二十三ヶ村三百五軒千四百九人
一、高十八石九升二合 小高林村	右石高は総高なり（差引なし）
一、高十八石九升二合 肝煎甚五右衛門	

○ 1石 = 150kgとして計算してみよう。どのくらいの量になるだろうか。家の数は？
 (1石 = 10斗
 1斗 = 10升
 1升 = 10合)

◀江戸時代のいねこきの

ようす。

- 明治の初めのころはまだこれと大して変わらなかったと思われます。
- このころは、米作りには人手が大変にひつようなので、となり近所親せきの人たちがみんなで助け合ってやりました。

